

## 【ご案内】

## 「家庭科の授業を語る会（第209回）」の開催

満開だった桜も 風に吹かれてハラハラと花びらを散らし、葉桜になり始めています。新学期を迎えて、何かと忙しくされていることでしょうか。季節の変わり目ですので、どうぞお身体を大切になさってください。

さて第209回の語る会では、宮本由宇先生に、中学校・住領域での授業についてお話しいただきます。どのように働きかければ、生徒が住生活について問題意識を持って学べるようになるのか、一緒に考えてみたいと思います。今回は、対面ではなく**オンラインのみ**での開催です。

なお、4月に異動のあった先生方もいらっしゃるでしょう。お手数ですが下記の事務局までお知らせいただけると有難いです。宮崎大学でもこの4月より教職員アドレスが変更になり、下記に示したようにcc. が省かれていますので、ご連絡の際はお気を付け下さい。

●日 時 : 2026年4月18日(定例の第3土曜日) 午後2時から午後4時

●場 所 : 下記のアドレスに接続下さい↓

<https://us02web.zoom.us/j/82555748274?pwd=PGhkoWy4Nff2eigG9GYazWimO5rYa5.1>

○ミーティング ID: 825 5574 8274 ○パスコード: 1Bbg6u

●話 題 : 『住を自分ごとに』～問題や課題を見つけ、どのように解決するか～

●話題提供者: 宮本由宇(本庄中学校)

## 「家庭科の授業を語る会（第208回）」（2026年2月21日）の報告

○話 題 : 心も暮らしも豊かにする家庭科学習の在り方

○話題提供者 : 今村 愛実(宮崎大学附属小学校)

第208回の「語る会」では、今村先生に「食べて笑顔に」という題材で、おいしいご飯と味噌汁の調理の仕方について追及する過程で、食生活をより豊かにしていこうとする態度を育む実践について、お話しいただきました。レシピをインターネットで簡単に調べることができたり、お惣菜など、調理しなくても食事をすることができる便利な現在にあって、家庭科で何を教え、何を役割としていくのかを問い直しながら授業を構成されていました。今回の題材の中では、実際に「食べる」機会をたくさん設けてあったのが印象的でした。おいしいご飯の炊き方について追及する際には、教師が準備した一口サイズのおにぎりを食べて評価し、自分の持っている知識も共有しながら、よりおいしく炊くために必要な観点を見つけ出していました。「作って、食べて、評価し、振り返る」という流れを繰り返すことで、子どもたちが自らの力で「おいしい」を追及できている様子が見え、うかがえました。

このように、家庭科という教科は共通体験を通して目的意識を持つことができる教科であり、考え方の多様性に気付くことができる場になるということがわかりました。子どもから始まる学びができるのが家庭科であり、子どもの気付きを広げていける実践力を身につけていきたいと思います。（文責：松田）

連絡先：家庭科の授業を語る会（事務局）

〒889-2129 宮崎市学園木花台西 1-1 宮崎大学家政教育講座内

伊波 富久美（大学院教育学研究科）：Tel/Fax 0985-58-7539（直通）

：メールアドレス [e09101u@miyazaki-u.ac.jp](mailto:e09101u@miyazaki-u.ac.jp)（cc. を削除）

瀧元 有理（教育学部）

：Tel/Fax 0985-58-7541（直通）

：メールアドレス [takimoto.yuri.q0@miyazaki-u.ac.jp](mailto:takimoto.yuri.q0@miyazaki-u.ac.jp)

●「家庭科の授業を語る会」のホームページ：<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc074/htdocs/>